臨時理事会を開き、色々変えていくと新理事長の渡辺幸春氏が熱く語り協力を呼びかける!!

全国宝石卸商協同組合「第66回通常総会」

全国宝石卸商協同組合（堀野博之理事長）の「第66回通常総会」が、5月22日、東京の美宝会館で開催され、組合員数116名中、本人出席20名、委任状出席66名、計86名により成立し、全て議案通り承認、可決された。なお、任期満了により役員改選が行われ、新理事長に渡辺幸春氏（新日本宝石㈱／代表取締役）が就任した。

総会冒頭の理事長挨拶で、堀野氏は「新しい令和が幕を開けた。平成は比較的に平和の時代であったが、経済的にはバブルが崩壊するなど厳しい時代が続き、失われた20年、30年などと言われた。現在でもGDPは世界第3位の経済大国と言われるが、国民一人あたりの数字を見ると、過去25年間でヨーロッパの国に大きく引き離され、韓国には追い越されようとしている。これでは宝石なんて売れないと思ってしまう。30年前と同じやり方ではいけない。我々も変わらなければならない。これからは知恵を出し合って、新しい事業を始めて欲しい」と語った。

すべての議案が承認された後には、新理事長に就任した渡辺氏が「様々な業界が100年に1度という変革期を迎えている。今までには考えられないことが身近で起こっている。それだけ売上が落ちているということだ。このような時期に理事長職をやっている場合でもないが、22歳の時に父に連れられ新年会に出たのが始まりだった。はじめは決まった人たちとの交流だけだったが、堀野さんが大改革を行ったことにより、様々な人との交流が始まった。いまの青年部があるのは全て堀野さんの功績だと思う」と振り返った。そして「私は、関西支部の方をほとんど知らない。皆様の職種も理解していない。何のための組合なのかも考えたことがなかった。今回改めて事業内容を読んだ。いくつか不思議に感じる項目があった。削除したい項目もある。活きていないものは必要ない。この組合からヒット商品を産みたいとの思いがあり、来年の秋頃には発表したい。全く変わっていないことに憤りを感じている。これからは、色んなことを変えていきたい。さっそく来月には臨時理事会を開きたい。2020年はあっという間に来てしまう。毎月の臨時理事会で協議していくつもり」と熱く語り、協力を呼びかけた。

新役員＝◆理事長＝渡辺幸春（関東）。◆副理事長＝高橋洋一（関東）、加藤久雄（関東）、鹿野琢也（関西／関西支部長）、伊東直樹（中部）、川崎雅章（関東／関東支部長）。◆専務理事＝奥村英則（関東）。◆常任理事＝中澤賢一（関東／総務部長）、泉淳（関東）、依田勝寿（関東／渉外部長）、伊藤彰（関東／広報部長）、古屋秀市（関東／渉外）、丸山嘉一（関東／事業部長）、大崎裕和（関東／事業）、久保田朝夫（関東／広報）、桐谷崇之（関東／総務）、藤田健（関東／渉外）、宮口耕一（関西／事業）、福山弘城（関西／事業）、佐野圭一（関西／広報）、吉光実（関西／事業）、浅井文昭（中部／中部支部長）、磯部速人（中部）、望月英樹（関東）。◆理事＝山口康（関東／事業）、流石伊知郎（関東／渉外）、エヌ・アラウディーン（関東／渉外）、野辺靖人（関東／広報）、松田宗久（関東）、依田耕児（関東）、松田晋（関西／総務）、アナンド・ゴキ（関西／事業）、嘉流貴英（関西／事業）、岩崎孝信（中部／事業）。◆相談役＝桐谷佳雄（関東）、平松金三（関東）、堀野博之（関東）、中川正照（関西）、水渓明志（中部）。◆監事＝後藤健一（関東）、岩崎道夫（中部）の、理事34名、相談役5名、監事2名（敬称略）。

まだまだ若者に時計の魅力伝わる事業計画の充実図る

大阪時計宝飾眼鏡「第72期通常総会」

大阪時計宝飾眼鏡商業協同組合（辰巳貞一理事長）は、「第72期通常総会」を5月22日、アークホテル大阪にて開催。総数108人中、本人出席36人、委任状出席43人で成立した。

辰巳理事長は「72年前の設立から今日まで続いているのは、諸先輩の努力の結果と思います。本組合には時計技術訓練校があり、本年度は17名の入校があるのは、若い人にもまだまだ時計の魅力が伝わっているからだと思います」と挨拶した。

総会は、各議案通り承認された。

令和元年の各委員会事業計画は、絵画コンクールの開催、機関紙・タイムスの紙面充実、写真コンテストの開催（近畿ブロック）、組合保養施設白浜ランスロットマンション活用など。眼鏡関係では眼鏡講習会の開催、関係団体との意見交換、情報収集と開示などに取り組むとしている。

その後、懇親会を開催。来賓祝辞を大阪府商工労働部中小企業支援室、商業・サービス産業課統括主査の小柳智史氏が贈った。その他の来賓は、大阪府職業能力開発協会事務局次長の寺田清美氏、（一財）大阪商業振興センター 事業チーフの谷口彰一氏、大阪時計卸協同組合理事の小谷年司氏、ジェムリサーチジャパン㈱代表の宮崎智彦氏、大阪府火災共済協同組合専務理事の大川肇氏、大阪府中小企業団体中央会 連携支援部連携促進課主事の江藤佳子氏、大阪眼鏡専門小売協同組合専務理事の亀井正美氏を迎えた。

続けて、長寿組合員の紹介があり、東大阪の沖村氏に記念品を贈呈。また技能検定合格者の発表で、山本善平氏に1級合格証書が手渡された。

乾杯の音頭は小谷氏が行い祝宴に入った。宴半ば、吉田副理事長の中締めの挨拶で、お開きとなった。

10月に4年ぶり全日本金銀創作展開催

組合事業を確実に継続

銀器組合「第69回通常総会」

東京金銀器工業協同組合（森將理事長）は、5月27日に「第69回 通常総会」を台東区民会館9階特別会議室で開催。組合員数56名中、本人出席17名、委任状出席20名の合計37名が出席し、総会が成立した。

冒頭の理事長挨拶で森氏は「前期の1年間は、私見では可もなく不可もなく」としたものの、後継者不足のほか「みなさんの協力でひとつの商品を作るケースが多い東京銀器ですが、ヘラ絞りの職人さん、仕上げ師さんなど、アウトソーシングの職人さんが急激に減ったために、従来仕事をさせていただいているお客様に、多大なご迷惑をかけたりしていたのを、なんとか乗り越えて、この総会を開けたことに感謝しております」と振り返った。また「今年は13回目となる全日本金・銀創作展を、前回同様に浅草文化観光センターで開催します。今日も浅草の観音様は非常に観光客が多く、特にアジア系の人たちで賑わっている。その浅草で創作展を外国の方を含めた一般の方たちに、日本の伝統工芸である銀器を見ていただけるのは光栄なことであり、喜ばしいこと」と述べた。

総会は、森理事長が議長を務め、第1号議案から第6号議案まで、すべて承認、可決された。

第2号議案の「事業計画」における事業方針は、後継者不足、関連業者の廃業、経営者の高齢化等厳しい現実に置かれているが、金銀製品のすばらしさを伝えるために毎年行われている組合事業を確実に続けていく。さらに今年度は第13回全日本金・銀創作展を開催する。4年ぶりの創作展を通して、新しい作品を制作することはもちろん、後継者育成、さらには業界の活性化を目指す、としている。

主な事業は、「第13回全日本金・銀創作展」と同時開催の展示販売会（10月25日～27日、浅草文化観光センター）、伝統的工芸品産業振興協会常設展示事業への出展（全国伝統的工芸品センター青山スクエア）、伝統的工芸品展WAZA2020（予定）、第63回東京都伝統工芸品展（予定）、組合内ショーウインドーの常設展示販売、第36回伝統的工芸品月間国民会議全国大会（11月1日～、岩手県）などとなっている。

なお、第6号議案の「定款の一部変更の件」では、組合運営を円滑にするための手段として賛助会員を設けることが森理事長から提案された。一つの案が出されたが、詳細は検討し、その後各社に提案していくとのこと。

総会終了後は、別会場にて懇親会が開かれた。。

自然科学理論による
より正確な
エンハンスメント鑑別書
宝石学学術協議会会員（AGK）
日本宝石科学協会
〒110-0005 東京都台東区上野 5-22-1 井上ビル4F
TEL:03-3836-2507 FAX:03-3836-2689

財政再建の方向に

東時協「第77回通常総会」

東京時計宝石眼鏡小売協同組合は、5月23日、台東区の上野精養軒で、「第77回通常総会」を開催。組合員総数156人中、本人出席22人、書面出席29人、委任状出席45人により成立。平成30年度事業報告、令和元年度事業計画など全11議案を原案通り承認可決した。総代会終了後、長寿祝金贈呈式も同時に執り行われた。

通常総会の冒頭、中山理事長があいさつに立ち、「現在も組合員の減少は続いており、組合の運営状況は厳しいことに変わりはない。しかし、私が理事長となり、皆様には不便、迷惑を掛けながらも経費の見直し、削減に務めた結果、僅かながら組合の財政も再建の方向に向かっている」と報告した。

総会終了後には仕入事業三社長による第21期上期の業務報告が行われた。

さらに来賓として東京都中小企業団体中央会の千葉俊支援課主査と東時協の顧問弁護士を務める御正安雄弁護士から祝辞が述べられた。

閉会後、同所にて、福祉生命共済会の長寿祝金贈呈式が執り行われた。

天然と合成が棲み分けされる時代

知識人の集合体として、業界のために

TDE

㈱TDEと東京ダイヤモンドエクスチェンジクラブ（TDE）の取締役会と理事会が5月23日に開かれ、その後オーラムにて懇親会が行われた。

冒頭、岩崎道夫理事長は、TDEの取締役会と理事会は滞りなく終了し、新しい理事と取締役が誕生したことを報告した後、「昨年度のダイヤモンドの輸入額は約970億円で、一昨年に比べれば良くなってきた合成ダイヤモンドに関しては、とても追いつけるようなスピードではないので困っている。天然ダイヤモンドの上に合成をくっつけるものもでてきているようで、我々としては、どうしてそんなことまでして作らなければいけないのかと思ってしまう。個人的な願望としては、天然の相場の約1割になってくれないかと願うばかりだが、市場には必ず出てくるので、仕方がないというよりも、共存する為にはどうしたらいいのかが課題になると思う」と述べた。

続いて、新しく副理事長に就任した明智正一氏が「若い頃を振り返ると、ダイヤモンド専門の会合はデビアスのキャラットクラブしか思い浮かばないが、それがなくなった現在は、我々知識人の集合体として、業界のためにもっともっと頑張っていきたいと思う」と乾杯の音頭をとり、懇親に入った。

中締めでは、加藤英高最高顧問が「今期は天然ダイヤモンドとシンセティックの話題で1年が過ぎた。天然の鉱山会社とシンセティックのメーカーそれぞれに言い分が有り、挑発し合っているが、これからのダイヤモンド業界は、天然ダイヤモンド業界とファッションダイヤモンド業界で、仲良く棲み分けする時代に入っていくと思う。我々のような団体は、橋渡しできるような立場として、PGIなどと一緒になって、プラットフォームを作っていけたら良いと思う。みなさんそれぞれ考え、知恵を出していきましょう」と語り、解散した。

新理事長にムラオの村尾社長

新体制で躍進誓う

JPC「第31回通常総会」

日本貴金属製鎖工業組合（JPC／後藤俊明理事長）の「第31回通常総会」が、5月22日、東京・東上野のオーラムにて開かれ、組合員10社中、出席8社、委任状1社により成立。上程された議案通り、承認可決された。

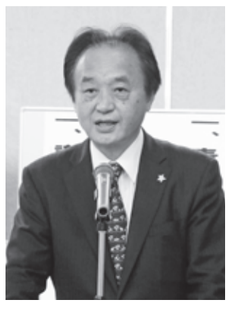
任期満了により、役員改選が行われ、新役員を選出し、以下が決定した。

理事長＝村尾嘉章（㈱ムラオ／社長）。副理事長＝後藤俊明（㈱英工芸／社長）、目黒和紀（三和精密工業㈱／社長）。専務理事＝安藤兼輔（㈱安藤製作所／社長）。理事＝殿川安彦（㈱殿川貴金属製作所／社長）、中川繁樹（中川装身具工業㈱／社長）、長堀慶太（㈱ナガホリ／社長）、並木啓政（㈱並木製作所／社長）。監事＝伊藤悦子（日本アクセサリー㈱／社長）、桑山貴洋（㈱桑山／社長）、〔敬称略〕。

難しい時代を皆と共に歩む

日本一や議員など会員が活躍

文化組合「第57回通常総会」



日本貴金属文化工芸協同組合（小原雄司理事長）の「第57回通常総会」が、5月29日、オーラムビルで開かれ、総勢38名中、30名（本人14名、委任16名）が出席し成立、上程議案すべて承認可決された。

冒頭、小原理事長は今期4つの嬉しいニュースがあったとして「初めて脱退者がゼロだった。日本一を競う技能グランプリで、ミキモト装身具の中から、金賞・銅賞・敢闘賞と3名が上位に入賞し、快挙を達成した。前理事長の川崎さんが東京都の功労者に表彰された。先月、長野県茅野市の市議会議員選挙で伊藤正博さん（ハーツ&ジュエリー）が当選した」ことを伝えた。

そして「新しい時代は、希望が考えられるが、全体的にはかなり変革しなければいけない。平成は、“昭和の良き時代を”もう一度という時代だったかもしれない。世界的にもイノベーションが進み、新しい価値に対して、新しい切り口、新機軸などが必要になってきている。スピードが速く、判断も熟慮していると、時代のほうが先に流れてしまう。こうした難しい時代を、みなさんと歩む一年にしたいと思う」として、挨拶にかえた。

続けて、後継者育成の表彰では、㈱ミキモト装身具と㈱ノブコイシカワに賞状が贈られた。受賞者を代表し、ミキモト装身具㈱取締役副工場長有竹茂氏は「当社は、長い間、手作りを生業とし、リーマンショック以降は、海外の労働力などに驚異を感じ、2000年からCADを導入。当初は馴染めなかったが、今は50台ほど入れた。しかし手作りの元となる部分は、やはり手でないと出来ない。人の手は根幹にあり、CADはその枝葉だと、当社社長が常々いっている。文化組合は、そういうことを57年に渡り続けている。さらに技能検定も行っている。作りに関しては、時間を掛けていいとしていた時代もあったが、今は条件で作ることが求められている。時間をどうやって使うかを重要視してきたことが、グランプリ獲得に繋がり、嬉しく思っている。これからも努力を続けていきたい」として、感謝の言葉を伝えた。

総会後は、懇親会が開かれた。

NJ TIME
博物館クラスのレア品から入門機まで究極の品揃え
GINZA NJ TIME 銀座 NJタイム
御堂筋店OPEN
06-6214-5535
営業時間 11:00～20:00【年中無休】
www.nj-time.com
〒542-0086 大阪市中央区
西心斎橋２丁目４番２号 難波日興ビル１F
NJタイム 検索

特殊研磨・石合わせ在庫豊富
裸石・原石カット
輸入卸・小売
金・銀・白金部品
製造販売・展覧会用
特別研磨
（どのような変型石でも研磨可）
ASAO 株式会社アサオ工芸
〒113-0033 東京都文京区本郷 2-26-11 種苗会館ビル3階
TEL.03-3812-7338
［営業時間］10:00～18:00（月曜～金曜）

CÔLIN JAPAN
美の系譜 コーリン・ジャパン
“CÔLIN JAPAN”は、今、あらためて海外に誇る
日本人の美意識から生まれるジャパンジュエリーです
株式会社 HAKKO インターナショナル
〒730-0036 広島市中区袋町5-13 TEL（082）244-4444

ホッタがお届けするブライダルジュエリー
AG GERSTNER The ring for life since 1862
150年余りの長い歴史をもつ
ドイツの老舗ジュエリーメーカー、ゲスナー
eduard G. fidel
ドイツの革新的なジュエリーメーカー
エドワード・ジー・フィーデル
株式会社 ホッタ ウオッチ&ジュエリー事業部
〒104-0061 東京都中央区銀座7-13-10 2F TEL.03-6226-4713